

(概要版)



発想や構想する力を高める図画工作科指導の工夫

—「グローアップチャート『みっけタネ』』と「図画工作科ノート」の活用を通して—

現状と課題

児童



自分らしい発想や構想が苦手な児童

指示がないと、
どう描いたらよいか
分からないな？

- 見た物をそのまま描くだけ
- 表現の幅が狭い
- 試行錯誤しながら製作できない

教師



長期研修員 新島 英幸

どのように助言したらよいか難しいな？

- 色数や技法を制限した指導に偏ってしまう
- 発想や構想の時間が十分確保されていない

課題解決に向けて次のように提言されている

学習指導要領

自分の感覚や活動を通して形や色などをとらえ、自分のイメージをもちながら対象をとらえ造的な創造活動の基礎的な能力を培う。

国立教育政策研究所

発想や構想の手がかりとなる視点や方法を提示したり、アイデアスケッチを何枚も描けるようにしたり、表しながら段取りを考え直せる指導の工夫

本県の学校教育の指針

表現や鑑賞の活動場面において、形や色をとらえイメージをもつなど〔共通事項〕で示された資質や学習内容との関連を明確にした指導の充実

形や色を手がかりとした発想や構想の視点やプロセスを示し、試し活動をくり返しながら発想や構想する力を高める指導が必要。

発想や構想の視点やプロセスを示すもの

➡【「グローアップチャート『みっけタネ』』】

試し活動でイメージを膨らませたり、練り上げたりするもの

➡【「図画工作科ノート」】

「みっけタネ」の活用



- ①はじめの印象は？
- ②どんな形が組み合わされている？
- ③どんな色が組み合わされている？
- ④作者は何を表したかったのかな？

色

形



「図画工作科ノート」の活用

リングファイルで止めて
新たな用紙を加えていく

使う用紙を表にしたり
抜き出して使ったりする



ケント紙、色画用紙などを
題材によって用紙を変える

「みっけタネ」①～④も
一緒に綴じていく

イメージを膨らませる段階の使い方

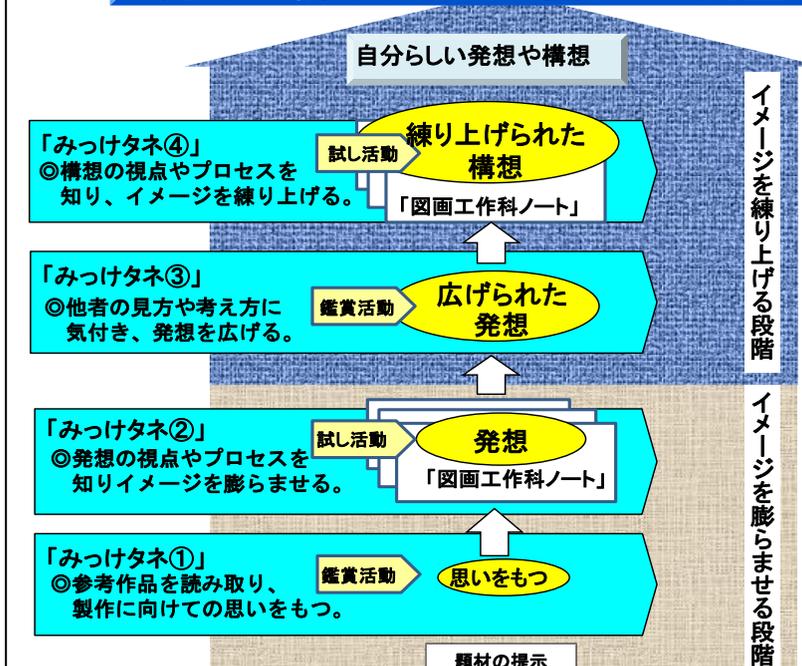
- ・アイデアスケッチを描く。
- ・材料を組み合わせる場にする。

イメージを練り上げる段階の使い方

- ・広げたイメージを振り返ったり確かめたりする。
- ・イメージの変容を見直す。
- ・アイデアスケッチを見直す。
- ・アイデアスケッチを描き加える。
- ・アイデアスケッチを組み合わせる。
- ・相互鑑賞で互いの意見を書き込む。

構想図

発想や構想する力が高まった児童



課題「自分らしい発想や構想が苦手な児童」

第5学年の実践例 題材「気持ちを表す形や色」



「みっけタネ」の活用

学習内容

「図画工作科ノート」の活用

「みっけタネ」①



色

赤は怒ってる。
黄色は楽しそう。



形

ギザギザ形は怒り。
雲形は悩んでいる。



形や色を視点に作品のイメージや作者の表現意図を感じ取れることに気付く。

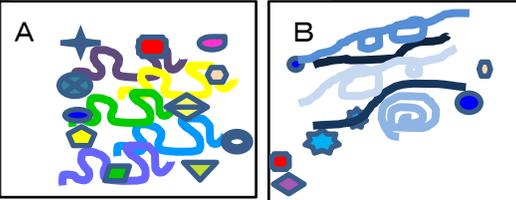


何回も試し活動やアイデアスケッチが描けるのが「図画工作科ノート」だよ！



イメージを膨らませる段階

「みっけタネ」②



「みっけタネ」を参考に、毛糸やビーズを並べながら「図画工作科ノート」で試し活動を繰り返し、イメージを膨らませる。



並べてみたら、楽しい感じになったよ！



並べたらいろいろな気持ちを表せたよ！



「爽やかなイメージ」はA？B？
線の動きはどうか？
色のイメージや統一感はあるか？

イメージを練り上げる段階

「みっけタネ」③

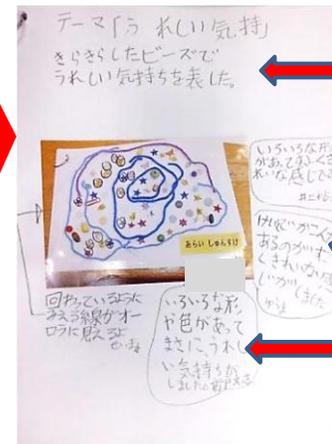
なぜ〇〇な気持ちを表せたの？



ぼくは、こう思うな！

わたしはこう思うな！

・自分の作品の気持ちが表せた理由を形や色の視点で分析する。
・相互鑑賞し、感想を交流し合い、見方や感じ方を広げる。



自分の作品を分析したよ！



友達に感想を書いてもらったよ！

「みっけタネ」④



外に広がっていく形が喜びを表しているよ！

赤や青や黄色が、心の中からわき上がってくる喜びを表しているな！



「みっけタネ」を参考に、絵の具と筆を使い、「図画工作科ノート」で試し活動を繰り返し、イメージを練り上げる。



自由な線と色で気持ちを表現したよ。



筆で描くときのびと表せるよ！



第5学年の実践例 題材「想ぞうのつばさを広げて」



「みっけタネ」の活用

学習内容

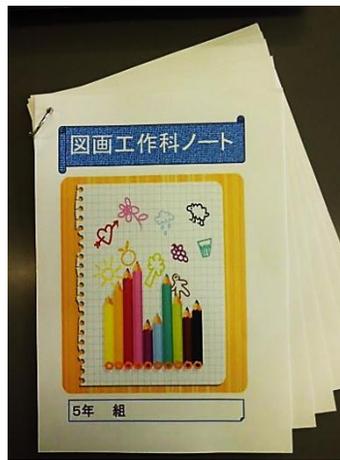
「図画工作科ノート」の活用

「みっけタネ」①



4枚の作品を比べ、形や色を視点に作品のイメージや作者の表現意図を感じ取れることに気付く。

感じ方や雰囲気の違いを見付けよう！



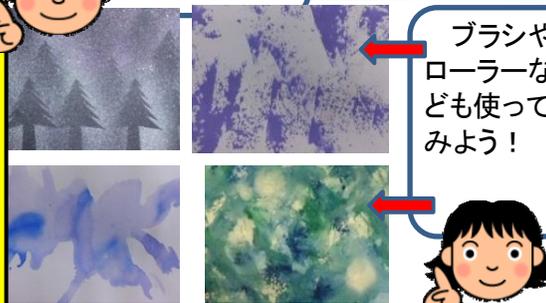
何回も試し活動やアイデアスケッチが描けるのが「図画工作科ノート」だよ！



イメージを膨らませる段階

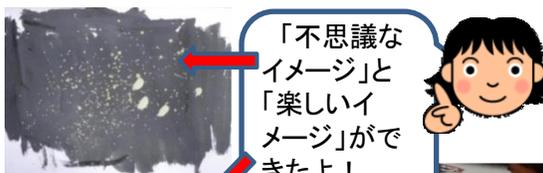
「みっけタネ」②

物語のイメージや心情を表す背景をつくろう！



ブラシやローラーなども使ってみよう！

「みっけタネ」を参考に、「図画工作科ノート」で試し活動を繰り返し、イメージを膨らませる。



「不思議なイメージ」と「楽しいイメージ」ができたよ！



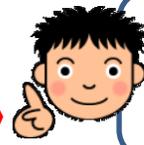
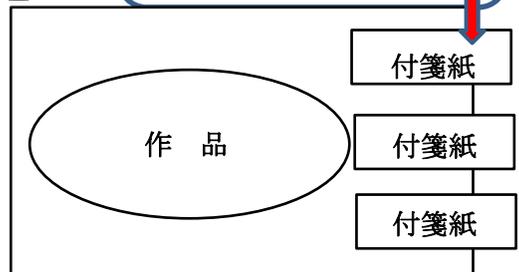
登場人物など、作品の構成に必要なものを描くよ！



「みっけタネ」③

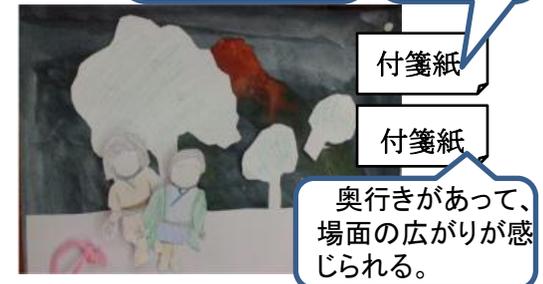
形や色を視点として、友達の作品から感じたことを見付けて、よいところや感想を付箋紙に書いてあげよう！

相互鑑賞し、意見を交流し合いながら、見方や考え方を広げる。



自分の作品に生かせるアイデアは参考にしよう！

四郎に隠れているかん子の不安が表れている。



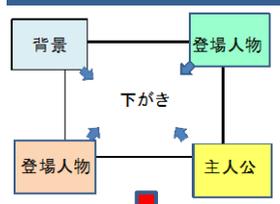
付箋紙

付箋紙

奥行きがあって、場面の広がりを感じられる。

イメージを練り上げる段階

「みっけタネ」④



背景と登場人物を組み合わせ、表したいイメージに適した表現方法を見付ける。

アイデアスケッチを組み合わせ、イメージに合った画面をつくろう！画面ができたらデジタルカメラで保存しておこう！



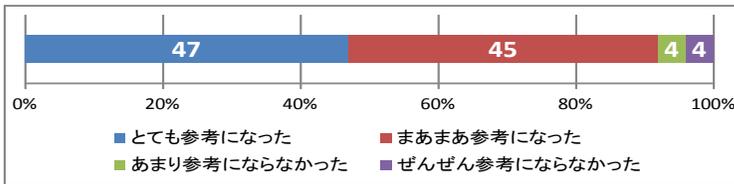
背景のイメージと登場人物の配置や動きが効果的だね！



まとめ

アンケート結果から

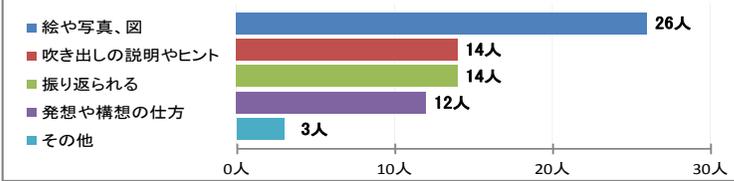
「みっけタネ」は参考になりましたか。



発想の仕方が分からない時は、「みっけタネ」が参考になったよ。



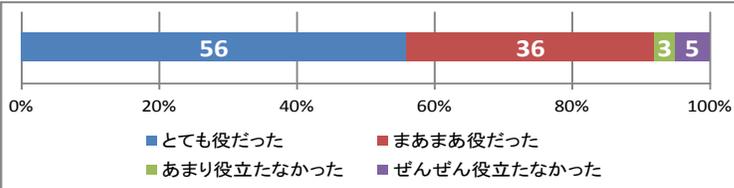
「みっけタネ」のどんなところが参考になりましたか。(69人回答)



「絵や写真、図」、「吹き出しの説明やヒント」がとても参考になったよ。



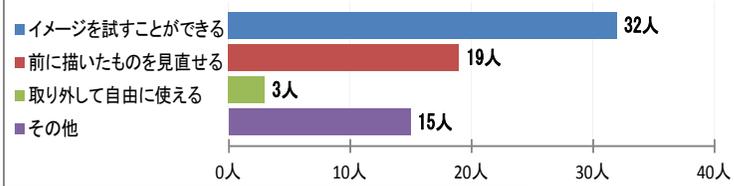
「図画工作科ノート」は役立ちましたか。



描きながらイメージを膨らませたり、練り上げたりできたところがとても役立ったよ。



「図画工作科ノート」のどんなところが役立ちましたか。(69人回答)



「イメージを試すことができる」、「前に描いたものを見直せる」ところがとても役立ったよ。



児童の製作過程例

喜びをイメージした配色

心情を形や色で表す。

お団子を食べた時の喜びを、試し活動でイメージした橙色で表した。

心情を形や色で表す。

食べようか？という迷いと、冬の森のイメージを心情豊かに表した。

成果

- 表したい表現を明確な意図をもって表現できるようになり、自分らしい表現を追求しながら発想や構想する力を高めることができた。
- 自分の思いを込め常に感性を働かせながら描いたり描き直したりして作品を製作できるようになり、自分らしい表現を追求しながら発想や構想する力を高めることができた。

課題

- 「みっけタネ」と「図画工作科ノート」のそれぞれの活用の仕方を習熟させ、より主体的な造形活動ができるように、今後の題材でも継続して活用していく必要がある。
- 高められた発想や構想する力を自分の思いに合わせて製作できるように、創造的な技能面に関する「みっけタネ」を作成し、「図画工作科ノート」の活用を考えていく必要がある。